AgileWorks R3

Webhook ガイド

R3.3 第 1 版(2026/07/15)

ATLED

目次／索引

1. Webhook について 4
1.1. Webhook とは 4
2. 設定 5
2.1. Webhook の設定 5
2.2. Webhook 送信先の設定 5
3. 利用例 8

◆ 改版履歴

版数	年月日	改版内容
第 1 版	2026 年 07 月 15 日	第 1 版作成

1. Webhookについて

この章では、AgileWorks の Webhook について説明します。

1.1. Webhook とは

Webhook とは、イベント実行時に外部サービスに向けて HTTP 通信を行う仕組みです。
送信先、送信フォーマット等自由に設定することができます。

2. 設定

この章では、Webhook を使用する前に必要な設定の説明をします。

2.1. Webhook の設定

【管理サイト】-【サイト管理】-【サイト共通設定】-【通知】-【Webhook 送信先設定】
Webhook 送信先や対象イベント送信メッセージ等 Webhook の各種設定ができます。

・送信先
　設定の利用状態や URL の設定、認証方式を設定できます。

・対象イベント
　通知フィルターの使用やどのフォーム、どのイベントで通知をするのかを決めることができます。

・メッセージ
　通知の際のメッセージを編集することができます。

2.2. Webhook 送信先の設定

Webhook の送信先の設定の仕方について説明します。

送信先タブにてメッセージ送信先を指定する情報を設定します。

・送信先 URL
　Webhook でメッセージを送信したい対象の URL を入力して下さい。
　パラメータには置換変数も含めることができます。
　※ライセンスに WebAPI オプションがない場合は共通機能宛てのみ設定が可能です。

・認証方式
　なし、BASIC 認証、POST ヘッダの三種類から選択することができます。
　認証方式を選択すると各設定項目の入力欄がでてきます。
　各認証方式については下記認証方式についての説明をご覧ください。

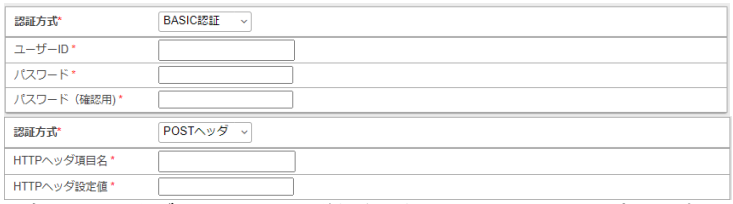
認証方式について
　BASIC 認証
　　送信先のサーバーにて AgileWorks に対して発行されたユーザーID とパスワードを指定してください。

　POST ヘッダ
　　POST 時の HTTP ヘッダに設定する API トークン等を指定します。
　　HTTP ヘッダの項目名と HTTP ヘッダの設定値を入力してください。

▼【管理サイト】-【サイト管理】-【サイト共通設定】-【通知】-【Webhook 送信先設定】-【送信先】



▼認証方式



対象イベントタブにて webhook 送信を行うイベントについて設定します。

・ユーザー通知フィルター

Webhook の送信に各ユーザー設定を適用するか設定します。

・公開フォーム

Webhook で通知を行うフォームを設定します。

・通知種類

Webhook で通知をする種類を設定します。

▼【管理サイト】-【サイト管理】-【サイト共通設定】-【通知】-【Webhook 送信先設定】-【対象イベント】



メッセージタブにて送信するメッセージの編集を行います。

・通知種類

メッセージを共通のものにするか、通知種類ごとに変更するか選択します。

・指定方法

メッセージの作成方法を選択します。
指定方法によってメッセージの作成の仕方が変わります。
また、指定方法を詳細設定から変更する場合、未保存となっている設定が失われます。保存後に変更してください。

メッセージの指定方法について

・簡易設定

件名と本文と URL が分かれています。そのまま送信したい内容を記入できます。
内容は json 形式で送信されます。
簡易設定で変更した内容は詳細設定へと反映されます。

・詳細設定

フォーマットを任意の形式、json 形式、xml 形式、フォーム形式から選択することができます。
本文は任意の形式で自由に記述することができます。

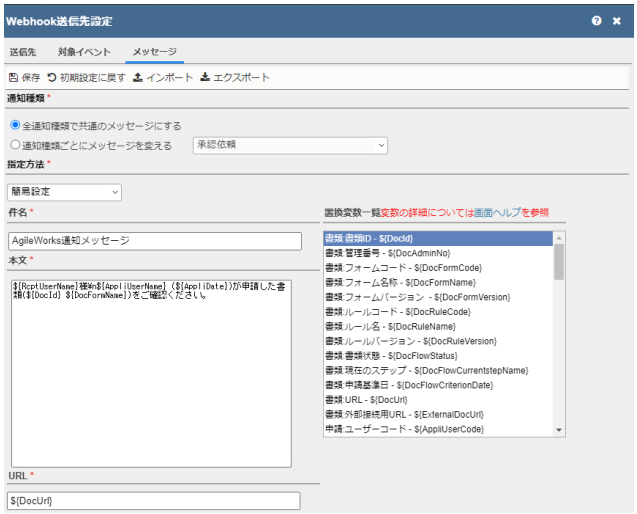
・書類情報

json 形式で書類の情報をまとめたものを送信します。
編集することはできません。
簡易設定、詳細設定で書類情報を送りたい場合は置換変数${FieldValue}をお使いください。

インポート・エクスポートについて

XML ファイルにてメッセージをインポート・エクスポートすることができます。

▼【管理サイト】-【サイト管理】-【サイト共通設定】-【通知】-【Webhook 送信先設定】-【メッセージ】



3. 出力例

この章では、実際の http 通信のリクエストの中身について説明します。

3.1. 簡易設定の出力

簡易設定は json 形式で出力されます。
設定値
▼件名

```
AgileWorks -- 承認依頼
```

▼本文

```
${RcptUserName}様\n 書類の承認をお願いします。\n[書類] ${DocId} (${DocFormName})\n[申請] ${AppliUserName} (${AppliDate})
${FieldValue:textfield1},${FieldValue:textfield2_0},${FieldValue:textfield2_1},${FieldValue:textfield3}
```

▼URL

```
${DocUrl}
```

実際の通信内容
▼http 通信の中身
Content-Type は application/json; charset=UTF-8 となります。

```
JavaScript Object Notation: application/json
 Object
  Member: title
   [Path with value: /title:AgileWorks -- 承認依頼]
   [Member with value: title:AgileWorks -- 承認依頼]
   String value: AgileWorks -- 承認依頼
   Key: title
   [Path: /title]
  Member: body
   [Path with value: /body:u002 様\n 書類の承認をお願いします。\n[書類] 147 (Webhook)\n[申請] u001 (2022-07-12 08:28:16.0)\n 稟議書,表明細 1 ,,${FieldValue:textfield3}]
   [Member with value: body:u002 様\n 書類の承認をお願いします。\n[書類] 147 (Webhook)\n[申請] u001 (2022-07-12 08:28:16.0)\n 稟議書,表明細 1 ,,${FieldValue:textfield3}]
   String value: u002 様\n 書類の承認をお願いします。\n[書類] 147 (Webhook)\n[申請] u001 (2022-07-12 08:28:16.0)\n 稟議書,表明細 1 ,,${FieldValue:textfield3}
   Key: body
   [Path: /body]
  Member: url
       [Path with value: /url:http://localhost:80/AgileWorks/Broker/Document?DocId=147]
       [Member with value: url:http://localhost:80/AgileWorks/Broker/Document?DocId=147]
       String value: http://localhost:80/AgileWorks/Broker/Document?DocId=147
       Key: url
       [Path: /url]
```

FieldValue の値について
FieldValue で表明細の行番号は 0 から始まります。（画面ヘルプに書かれた場合消す）
値の入っていない id（textfild2_1）を指定した場合、何も表示されません。
存在しないフィールドの id（textfield3）を指定した場合、置換されずに入力値がそのまま表示されます。

3.2. 詳細設定の出力

詳細設定は json,xml,フォーム,任意の形式からフォーマットを選択することができます。
json
設定値
▼メッセージ

```
{
  "title":"AgileWorks -- 承認依頼",
  "body":"${RcptUserName}様\\n 書類の承認をお願いします。\\n[書類] ${DocId} (${DocFormName})\\n[申請] ${AppliUserName}
(${AppliDate})${FieldValue:textfield1}${FieldValue:textfield2_0}${FieldValue:textfield2_1}${FieldValue:textfield3}",
  "url":"${DocUrl}"
}
```